

令和3年12月10日

報道機関各位

国立大学法人東北大学
東北電力株式会社

**国立大学法人東北大学と東北電力株式会社との
連携・協力に関する協定の締結について**
ーグリーンかつスマートな未来社会の実現推進等に向け協力し、地域社会発展に貢献ー

【発表のポイント】

- 東北大学と東北電力は、持続的かつ組織的な連携・協力を促進し、安心・安全で持続可能なグリーンかつスマートな東北発の未来社会の実現を通じて、地域社会の発展に貢献することを目的に協定を締結しました。

【概要】

国立大学法人東北大学（所在地：宮城県仙台市、総長：大野 英男、以下「東北大学」）と東北電力株式会社（本店：宮城県仙台市、取締役社長社長執行役員：樋口 康二郎、以下「東北電力」）は、両者が共に目指すグリーンかつスマートな未来社会の実現推進に向け、互いに協力し、地域社会の発展に貢献することを目的に、本日、相互の連携・協力に関する協定を締結いたしました。

具体的には、以下の事項について連携・協力しながら、地域社会の発展に寄与してまいります。

《連携・協力事項》

- ・ 安心・安全で持続可能なグリーンかつスマートな未来社会の実現推進に関する事項
- ・ 産業の振興・共創に関する事項
- ・ 災害対策、東日本大震災からの復興推進に関する事項
- ・ 地域創成を担う人材の育成に関する事項

など

両者はこれまでも、共同研究などを通じて優れた成果を上げてきました。

また、東北大学の子会社である東北大学ベンチャーパートナーズ社が運営する「THVP-2号投資事業有限責任組合」に東北電力が投資することで、地域に根ざした東北発のスタートアップ企業を支援し、新産業の創出によるイノベーションの推進にも取り組んでおります。

こうした中、東北大学が、あらゆる社会問題・環境問題を解決し、レジリエントかつ人々が心豊かに生活することのできるグリーン未来社会の実現を目指し、「グリーン未来創造機構」※¹を設置したことや、東北電力が、中長期ビジョン「よりそう next」※²や「東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」※³を策定し、スマート社会ならびにカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを進めていくことなどを踏まえ、両者の目指すビジョンの実現を加速するためには、これまで以上の連携・協力が必要と考え、協定の締結に至りました。

今回の協定締結により、両者は、持続的かつ組織的な連携・協力による安心・安全で持続可能なグリーンかつ東北発のスマートな未来社会の実現を通じて、東北をはじめとする地域社会の発展に寄与してまいります。

以 上

※1 東北大学「グリーン未来創造機構」

<https://www.ggi.tohoku.ac.jp/>

※2 東北電力グループ中長期ビジョン「よりそう next」

<https://www.tohoku-epco.co.jp/comp/keiei/vision.html>

※3 東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”

<https://www.tohoku-epco.co.jp/cnc2050/>

【問い合わせ先】

(東北大学) グリーン未来創造機構 (総長・プロボスト室)

電話 022-217-5009

(東北電力) ソーシャルコミュニケーション部門 報道・プロモーションユニット

電話 022-799-1231

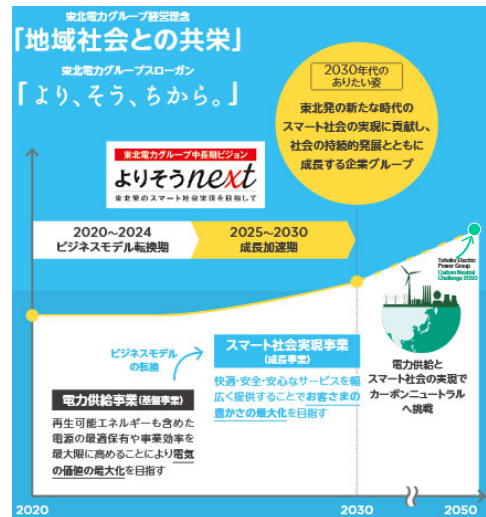
■ 東北大学と東北電力は、両者が共に目指すグリーンかつスマートな未来社会の実現推進に向け、互いに協力し、社会の発展に貢献することを目的に、相互の連携・協力に関する協定を締結いたしました。

＜東北大学＞

本年4月「グリーン未来創造機構」を設置し、全学組織的に社会課題の解決へ挑み、あらゆる環境及び社会問題を解決し、レジリエントで目つ人々が心豊かに生活することのできるグリーン未来社会の実現を目指す

＜東北電力＞

中長期ビジョン「よりそうnext」や「東北電力グループ“カーボンニュートラルチャレンジ2050”」のもと、東北6県および新潟県を中心に電力供給を担い続けるとともに、スマート社会とカーボンニュートラル実現を目指す

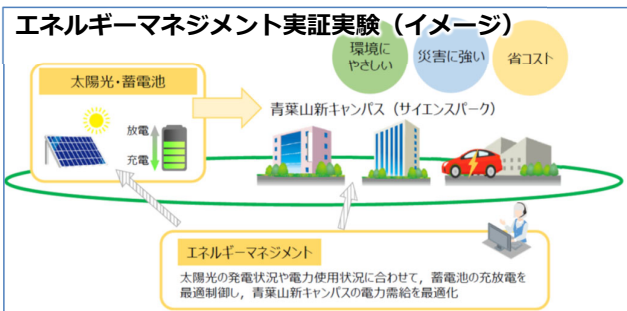


安心・安全で持続可能なグリーンかつ東北発のスマートな未来社会の実現を通じた、東北をはじめとする社会の発展

連携・協力事項と取り組み内容

1. 安心・安全で持続可能なグリーンかつスマートな未来社会の実現推進に関する事項

- スマート社会実現、カーボンニュートラル等に関する最先端技術の社会実装を推進
- 東北大学キャンパスのカーボンニュートラルの取り組み推進、グリーンキャンパス実現による社会への普及・展開
※東北大学は2030年度CO₂排出量を50%削減（2013年度比）、2040年度カーボンニュートラルを目指す
- 東北大学青葉山新キャンパス内でのエネルギーマネジメント実証実験の検討



3. 災害対策、東日本大震災からの復興推進に関する事項

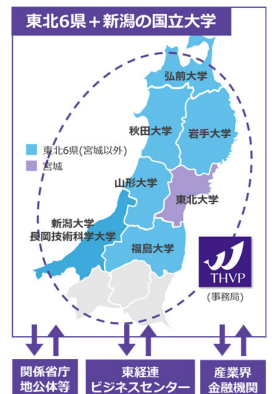
- 災害対策及び東日本大震災を契機に推進している環境エネルギーなどの共同研究における連携

2. 産業の振興・共創に関する事項

- 「東北電力×東北大学共創研究所」を通じた新事業の創出、価値提供による地域発展への貢献
- 東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社が運営するファンド（東北電力が出資参画）を通じた、東北地域由来のスタートアップ企業の育成

THVP-2号投資事業有限責任組合（2号ファンド）概要

- 2020年10月に設立（ファンド規模 総額78億円）
※東北電力出資参画
- 主な投資対象を東北大学をはじめとした東北の国立大学ベンチャーに拡大
- ビジョン：
「【東北周辺地域】：持続的な経済活性化への貢献、高度人材定着化の促進、域外資金流入の拡大」



4. 地域創成を担う人材の育成に関する事項

- エネルギー分野のカーボンニュートラルへの取り組みや環境保全等に係わる教育の相互実施
- 共同研究講座を通じた人材の育成